

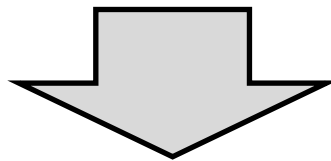
# 令和3年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立金竜小学校

## ○ 教科【国語科】

### 1 児童の状況及び実態

- ・言葉の特徴や使い方の知識や技能について、十分に定着している児童が約50%、その他約50%の内、約20%が特に努力を有する。
- ・話す、聞く、書く、読むことにおいて、筋道立てて考えたり、自分の思いや考えを表現したりすることが十分に定着している児童が約45%、その他約55%の内、約10%が特に努力を有する。



### 2 学習についての課題

#### 【知識及び技能】

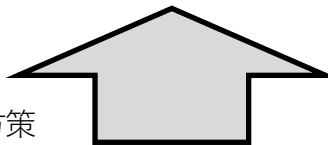
- ・漢字の定着に努力を要する児童が多い。
- ・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使う力が不十分である。

#### 【思考力、判断力、表現力等】

- ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がある。
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。

#### 【学びに向かう力、人間性等】

- ・進んで自分の考えをもち、話し合いの中で考えを深めようとする児童が少ない。



### 3 授業改善に向けての具体的な方策

#### 【知識・技能】

- ・定期的に、漢字や言葉の学習のミニテストを行い、漢字や言葉の学習の定着を図る。定着が不十分な児童には直しをさせ、複数回ミニテストを行う。

#### 【思考・判断・表現】

- ・表や人物像相関図などを活用しながら、人物像や物語などの全体像を想像できるようにする。
- ・考えをまとめる際には、「型」を提示し、それを基にしてまとめられるようにする。
- ・自分の考えを伝える際に、どのような言葉に着目したか示してから、自分の考えを伝えるようにする。

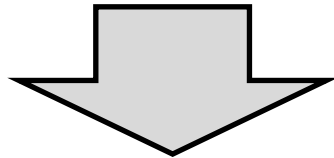
#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・進んで話し合ったり、考えを深めたりしたいと思えるように、必然性のある話し合いや考えを深める場面を設定する。
- ・視点を示して、学習内容に対する振り返りをさせるとともに、必ず自己評価をさせる。

## ○ 教科【算数科】

### 1 児童の状況及び実態

- ・知識及び技能について、十分に定着している児童が約 58%、その他約 42%の内、約 10%が特に努力を有する。
- ・思考力・判断力・表現力について、十分に定着している児童が約 35%、その他約 65%の内、約 35%が特に努力を有する。
- ・意欲的に練習問題に取り組む児童が多い。



### 2 学習についての課題

#### 【知識及び技能】

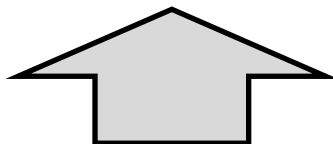
- ・小数のかけ算・わり算で、小数点の移動に気を付けながら、正しく計算すること、また、数を量的にとらえる力が弱い。
- ・単位換算が苦手な児童が多い。
- ・複合図形の面積を求める力が不十分である。

#### 【思考力、判断力、表現力等】

- ・問題場面を式に表す際に、正しく立式できなかつたり、立式の根拠を図や表、言葉で説明したりする力が不十分である。

#### 【学びに向かう力、人間性等】

- ・問題解決場面において、多面的にとらえ検討して、よりよいものを求めて粘り強く考えようとする児童が少ない。



### 3 授業改善に向けての具体的な方策

#### 【知識・技能】

- ・朝学習などで計算プリントに継続して取り組ませる。
- ・具体物や図、表を用いるなどして、数量や面積の求め方などをイメージできるようにする。

#### 【思考・判断・表現】

- ・既習事項を確認し、問題解決の見通しを持ちながら学習を進められるようにする。
- ・授業の中にペア学習など児童間で教え合う時間や発表する時間を取り、考えを論理的に式や図、言葉で表すことができるようにする。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・児童の「問題を解決したい」「いろいろな考えを出してみたい」という気持ちを高められるように、既習事項を丁寧に確認したり、様々な考え方を取り上げて比較したりするなど、導入や展開を工夫する。

